

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 7 月 4 日 (2019.7.4)

【公表番号】特表 2018-520517 (P2018-520517A)

【公表日】平成 30 年 7 月 26 日 (2018.7.26)

【年通号数】公開・登録公報 2018-028

【出願番号】特願 2017-566357 (P2017-566357)

【国際特許分類】

H 0 1 L 25/07 (2006.01)

H 0 1 L 25/18 (2006.01)

H 0 1 R 13/24 (2006.01)

【F I】

H 0 1 L 25/04 C

H 0 1 R 13/24

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 5 月 29 日 (2019.5.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 9】

パワー半導体モジュールにおける、ばね要素によって接続されなければならないそれぞれのコンタクトの第 1 コンタクト領域と第 2 コンタクト領域とを電氣的に接続するために第 1 部品が設けられるように、第 1 コンタクト部分は、第 2 コンタクト 部分の反対側に位置することが好ましい。これは、第 1 部品が第 1 コンタクト部分と第 2 コンタクト部分との間、すなわち、ばね要素が作用状態である場合の第 1 コンタクト領域と第 2 コンタクト領域との間に導電性経路を備えるので、特に可能である。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 8 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 8 0】

さらに、コンタクト部分 2 6、2 8 および押付け部分 2 0、2 2 の両方は、実質的に楕円形状を有し、互いに触れ合ってその楕円形状を続けていることが好ましいことがわかる。楕円形状は、ばね力 F S に対して実質的に垂直である楕円形状のまっすぐな部分を形成するコンタクト 1 6、1 8 と、まっすぐな部分に続いて、すなわち、まっすぐな部分に隣接して設けられる 2 つの半円形部分 1 7、1 9 とを含む。楕円形状は、変形部分 2 4 に向かう方向に、それぞれ開口部 2 1、2 3 によって開口しており、第 2 部品 1 4 がその開口部を通して続く。